I 令和2年度入学者選抜の概要

1 アドミッション・ポリシー

看護学とは、人や社会と向き合い健康に関わるケアを実践していく学問である。本学は、総合的な判断力を持つ自律した看護師を育てることを目指し、「建学の精神」を理解した次のような特質をもつ人を受け入れる。
1. 生命の尊厳に対する感性と想像力をもち、自分自身と大切にできる人
2. 生物学的なテクニックから社会で生活する人間までを科学的に理解するための基礎学力を有する人
3. 新たな学びや課題に向き合い、主体的に考え行動できる人

2 募集人員

<table>
<thead>
<tr>
<th>学  部</th>
<th>学  科</th>
<th>入学定員</th>
<th>一般入試</th>
<th>特別入試</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>看護学部</td>
<td>看護学科</td>
<td>80名</td>
<td>40名</td>
<td>10名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>30名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注1）社会人の「若干名」は推薦の30名に含めます。
注2）私費外国人留学生の「若干名」は前期日程の40名に含めます。

3 実施日程

選抜区分ごとの試験実施日程は、次のとおりです。

<table>
<thead>
<tr>
<th>入試区分</th>
<th>区 分</th>
<th>出願期間</th>
<th>選抜期日</th>
<th>合格発表</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>特別入試</td>
<td>推薦</td>
<td>令和元年11月1日（金） ～ 11月7日（木）</td>
<td>令和元年11月23日（土・祝）</td>
<td>令和元年12月3日（火）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>社会人</td>
<td>令和2年1月27日（月） ～ 2月5日（水）</td>
<td>令和2年2月25日（火）</td>
<td>令和2年3月6日（金）</td>
</tr>
<tr>
<td>特別入試</td>
<td>私費外国人留学生</td>
<td>令和2年1月27日（月） ～ 2月5日（水）</td>
<td>令和2年2月25日（火）</td>
<td>令和2年3月6日（金）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4 学生募集要項の配布

特別入試（推薦、社会人）は令和元年10月上旬から、一般入試（前期日程、後期日程）及び特別入試（私費外国人留学生）は令和元年11月上旬から学生募集要項を配布する予定です。
Ⅱ 一般入試（前期日程・後期日程）

1 出願資格

次の（1）～（8）のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験した者とします。

| （1） | 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者 |
| （2） | 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 |
| （3） | 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの |
| （4） | 専修学校の高等学校（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 |
| （5） | 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものと認められた在学中等学校の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 |
| （6） | 文部科学大臣の指定した者 |
| （7） | 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの |
| （8） | 本学において、個別の入学者選別審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの |

注）（8）で出願しようとする者は、事前に教務学生グループ（9 ページ「問合せ・学生募集要項請求先」を参照）に連絡のうえ、手続きを行ってください。

2 選抜方法

前期日程・後期日程とも、面接の結果が一定の基準に達した者の中から、大学入試センター試験と個別試験（総合問題及び面接）の結果及び調査書等の内容を総合的に評価します。

「総合問題」は、一般教養及び論理的思考力を総合的に評価する問題とします。

3 実施日程

出願期間、選抜日及び合格発表は、次のとおりです。

<table>
<thead>
<tr>
<th>日 時</th>
<th>出 願 期 間</th>
<th>選 抜 期 日</th>
<th>合 格 発 表</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>前 期 日程</td>
<td>令和2年1月27日（月）～2月5日（水）</td>
<td>令和2年2月25日（火）</td>
<td>令和2年3月6日（金）</td>
</tr>
<tr>
<td>後 期 日程</td>
<td>令和2年3月12日（木）</td>
<td>令和2年3月20日（金・祝）</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

注）出願期間を過ぎて到着した場合には、令和2年2月5日（水）までの発行日数便局の被印のあるものに限り受け付けます。
4 令和2年度大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目

<table>
<thead>
<tr>
<th>日 程</th>
<th>教 科 名</th>
<th>科 目 名</th>
<th>教科・科目数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>前期日程</td>
<td>国 語</td>
<td>『国語』（近代以降の文章）</td>
<td>4 教科 6 科目</td>
</tr>
<tr>
<td>数 学</td>
<td>『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>理 科</td>
<td>『物理』、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>外 国 語</td>
<td>『英語』（リスニングを含む）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>後期日程</td>
<td>国 語</td>
<td>『国語』（近代以降の文章）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>地 理 歴 史</td>
<td>『世界史A』、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「近現代史」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目を選択</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>公 民</td>
<td>3 教科 3 科目又は 4 教科 4 科目を選択</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>数 学</td>
<td>『数学Ⅰ・数学A』、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目を選択</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>理 科</td>
<td>『物理基礎』、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目を選択</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>外 国 語</td>
<td>『英語』（リスニングを含む）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

注1）『国語』については、「近代以降の文章」の得点のみを合否判定に用います。
注2）前期日程については、「地理歴史・公民」、「数学」及び「理科」において、複数科目を受験した場合は、高得点の科目をその教科の得点とし、合否判定に用います。また、「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」及び、「理科」の全ての教科を受験した場合には、高得点の上位3教科を合否判定に用います。
注3）前年度の大学入試センター試験の結果は利用できません。
注4）本学が示した教科・科目数を満たしていない場合は、本学が実施する個別試験を受けられません。

5 大学入試センター試験及び個別試験（総合問題）の配点

令和2年度大学入試センター試験及び本学で実施する個別試験（総合問題）の配点は、次のとおりです。

<table>
<thead>
<tr>
<th>日 程</th>
<th>試 験 区 分</th>
<th>国 語 注1</th>
<th>地理歴史・公民</th>
<th>数 学 注4</th>
<th>理 科 注5</th>
<th>外 国 語 注2</th>
<th>総合問題 注3</th>
<th>合 計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>前期日程</td>
<td>大学入試センター試験</td>
<td>100</td>
<td>——</td>
<td>100 注4</td>
<td>100 注5</td>
<td>200</td>
<td>——</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>個 別 試 験</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>200</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>100</td>
<td>——</td>
<td>100</td>
<td>200</td>
<td>200</td>
<td>700</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>後期日程</td>
<td>大学入試センター試験</td>
<td>(100) 注6</td>
<td>(100) 注6</td>
<td>(100) 注6</td>
<td>(100) 注6</td>
<td>200</td>
<td>——</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>個 別 試 験</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>——</td>
<td>200</td>
<td>200</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>300</td>
<td>200</td>
<td>200</td>
<td>700</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

注1）『国語』については、「近代以降の文章」（2問100点）の得点のみを合否判定に用います。
注2）『外国語』200点は、筆記試験の200点とリスニングテストの50点の合計に0.8を乗じた値です。
注3）『総合問題』は、一般教養及び論理的思考力を総合的に評価する問題とします。
注4）前期日程「数学」の配点は、1科目を50点に換算し計100点とします。
注5）前期日程「理科」の配点は、1科目を50点に換算し計100点とします。
注6）後期日程については、「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」及び「理科」のうち高得点の上位3教科を合否判定に用います。
6 その他
入学手続期間終了後、募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格者を出すことがあります。

III 特別入試（推薦）

1 出願資格
次の（1）～（4）の全てに該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者とします。なお、大学入試センター試験を受験する必要はありません。

<p>| | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1)</td>
<td>大分県内の高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者</td>
</tr>
<tr>
<td>(2)</td>
<td>調査書の教科の評定平均値4.0以上の者</td>
</tr>
<tr>
<td>(3)</td>
<td>看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育研究に携わっていく意欲を有する者</td>
</tr>
<tr>
<td>(4)</td>
<td>合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2 推薦人数
高等学校において推薦できる人数は、出願資格を満たしていれば制限しません。

3 選抜方法
面接の結果が一定の基準に達した者の中から、個別試験（総合問題と面接）の結果及び調査書等を総合的に評価します。
「総合問題」は、一般教養及び論理的思考力を総合的に評価する問題とします。

4 実施日程
出願期間、選抜期日及び合格発表は、次のとおりです。

<table>
<thead>
<tr>
<th>出願期間</th>
<th>選抜期日</th>
<th>合格発表</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>令和元年11月1日（金）～11月7日（木）</td>
<td>令和元年11月23日（土・祝）</td>
<td>令和元年12月3日（火）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注）出願期間を過ぎて到着した場合には、令和元年11月7日（木）までの発信邮便局の消印のあるものに限り受け付けます。